

一般社団法人 日本薬学教育学会 2022年度第1回理事会 議事録

開催日時：令和4年7月20日（水）13：00～15：20

開催場所：WEB会議システム（ZOOM）による開催

理事：乾 賢一、中村 明弘、有田 悦子、石川 さと子、入江 徹美、奥田 真弘
亀井 美和子、木内 祐二、小佐野 博史、鈴木 匡、高橋 一栄、
武田 香陽子、永田 泰造、長谷川 洋一

<欠席>：西口 工司、安原 智久

監事：林 正弘、吉富 博則

事務局：横川 和代、村上 聡

議事に先立ち、学会支援機構の村上代表理事より本学会担当者が変更になった経緯が説明され、6月から新たに担当となった横川和代氏が紹介された。

続いて、定款第35条第2項に基づき、議事録には乾理事長と林監事、吉富監事が署名又は記名押印することが確認された。

議事：

1. 前回（2021年度第5回）理事会議事録案について（承認事項）

中村理事より議事録（案）に基づいて前回理事会の議事内容が報告され、議事録として承認された。

2. 2021年度事業報告について（協議事項）

中村理事より2021年度事業報告の内容が資料に基づいて紹介され、定時社員総会に提出することが承認された。

3. 2021年度決算報告について（協議事項）

亀井理事より収支計算書に基づいて2021年度（2021年7月1日～2022年6月30日）の決算報告が行われ、定時社員総会に提出することが承認された。収入の合計額は16,890,223円で、予算額より1,935,777円低かった。予算との差異が大きかった科目としては、会費収入が予算を上回ったが、大会収入および学会誌の掲載料収入と広告料収入は予算に届かなかった。支出の合計額は14,868,934円で、予算額より3,898,066円少なかった。予算より支出が少なかった主な科目は、事業費支出では第6回大会支出や講演会・研究会等開催費、委員会活動費で、管理費支出では印刷費や旅費・交通費、会議費で、いずれもコロナ禍の影響によるものであった。一方、予算を上回った科目は学会誌発行費で、第5巻掲載の論文数が増加したことによるものであった。

4. 2022年度事業計画（案）について（協議事項）

中村理事より2022年度事業計画の内容が資料に基づいて紹介され、定時社員総会に提出することが承認された。

5. 2022年度収支予算（案）について（協議事項）

亀井理事より2022年度収支予算（案）が資料に基づいて紹介された。2022年度の事業計画と2021年度の実績に基づいて各科目の予算額について確認した結果、一部修正を行った上で、定時社員総会に提出することが承認された。

6. 業務委託契約書の更新について（協議事項）

事務局より業務委託契約書の更新について、前回（令和2年7月1日）の内容と変更する必要がないことが説明され、これまでと同じ内容で契約を更新することとした。

7. 第7回総会の議事案件・シナリオについて（協議事項）

中村理事より資料に基づいて8月17日に開催する第7回定時社員総会の議事案件とシナリオ案が紹介され、協議の結果、承認された。定時社員総会の出欠登録状況を確認し、必要に応じて会員に出欠登録を督促することとした。

8. 役員選挙開票結果報告・非選挙理事の推薦について（報告事項）

事務局より、5月11日～6月10日にWeb投票システムを利用して実施された役員選挙の選挙管理委員会による開票結果が資料に基づいて報告された。無効投票が確認されたことから、次回は学会支援機構の投票システムの利用について検討することとした。また、投票率の算出方法についても定時社員総会までに確認することとした。

9. 第7回大会の準備状況について（報告事項）

有田理事より第7回大会ホームページに基づいて、現在の準備状況が報告された。現時点の参加登録者数は336名で、昨年が425名であったので、今回も400名以上を目標に広報活動を行っている。一般演題数は93件（うち学生発表は11件）、後援機関・団体は28、要旨集の広告掲載は23件、商業展示は4件、大学からの情報展示は19校とのこと。要旨集は8月1日に発送予定。大会の開会式では文部科学省と厚生労働省の担当者に依頼して承諾を得ており、閉会式はoViceで行う予定であることが報告された。薬剤師研修認定についても対応済みである。

10. 第8回大会の大会長の選任について（協議事項）

第8回大会の大会長として、開催校である熊本大学薬学部の森岡弘志学部長を選任し、定時社員総会において提案することとした。

11. 第8回大会の準備状況について（報告事項）

入江理事より第8回大会の準備状況が報告された。これまで検討してきた薬学部のある大江キャンパスは大会開催には狭いため、会場として市民会館シアーズホーム夢ホールと熊本市国際交流会館を予約した。学内外の実行委員が決定し、特別講演は「くまモン」の企画者に依頼した。

12. 第9回大会開催校について（協議事項）

2024年度の第9回大会開催校については、乾理事長が交渉中であり、確約が得られ次第、近日中にメール会議を開催して選定することとした。

13. 「日本薬系学会協議会（仮）」設立に向けた準備委員会への参加について（協議事項）

2022年6月8日に開催された「日本薬系学会協議会（仮称）」の設立に関する「薬系学会代表者による懇談会」のZOOM動画のYouTube配信を、各理事が理事会前に視聴した。「日本薬系学会協議会（仮）」設立に向けた準備委員会への参加について協議した結果、準備委員会に参加することが承認された。

14. 第7回日本老年薬学会大会 後援名義使用依頼について（報告事項）

長谷川理事から、第7回日本老年薬学会大会から後援依頼が届いたことが紹介された。同学会の大会はこれまでも後援しきており、今回も承諾したことが報告された。

15. 委員会報告（報告事項）

- ・ 編集委員会
入江理事から資料に基づいて J-STAGE 公開状況と論文投稿・審査状況が報告された。
- ・ 薬学実務実習委員会
小佐野理事から 2022年3月に名古屋で開催したワークショップと同様のものを来年の3月頃に関東で開催することを検討中であることが報告された。
- ・ 倫理教育委員会
有田理事より委員会の活動予定として、第7回大会でのワークショップ開催、全国の大学を対象に行った調査結果のまとめ、学会誌「薬学教育」での研究倫理に関する連載の企画が紹介された。
- ・ 国際化委員会
武田理事より、8月に委員会を開催し、現在進行中の薬学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂内容を世界標準と照らして検討する予定であることが紹介された。
- ・ 中長期ビジョンワーキンググループ
入江理事より、10月16日（日）に帝京平成大学薬学部でワークショップ「皆で未来の薬学教育を考えよう！」を対面で開催することが報告された。プロダクトは来年の第8回大会で報告することも検討している。

16. 担当理事報告（報告事項）

- ・ 広報担当
石川理事より、引き続きホームページの更新を進めていることが報告された。社員総会までに議事録のホームページでの公開を行い、掲載時には役員に連絡する。
- ・ 連携担当
木内理事より、医療・福祉系の教育関係学会との連携として、まずはシンポジウムや学術集会を相互に後援（①）、次に共催（②）、そして将来は連絡協議会の創設（③）の

3段階を考えていることが紹介された。

17. 理事長の職務執行状況および理事長報告（報告事項）

事務局より資料に基づいて2021年10月28日から2022年7月19日までの理事長の職務執行状況が報告された。

18. 会員登録状況報告（報告事項）

事務局より資料に基づいて2022年7月1日時点の会員数の増減・会費納入状況が報告された。個人会員は719名で会費納入率92.6%、学生会員は55名で会費納入率は56.4%であった。機関会員は熊本大学薬学部が入会して66校となった。

19. その他

- ・ 中村理事より、日本私立薬科大学協会に「日本薬学教育学会との連携推進委員会」が設置されたことが報告された。
- ・ 次回新理事会は、8月17日（水）17時からオンラインで開催される定時社員総会中に行われることが確認された。
- ・ 本理事会を最後に役員を退任する吉富監事、永田理事、武田理事、亀井理事から挨拶が行われた。

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2022年7月20日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 林 正弘

監 事 吉富博則